地域と町のパイプ役

新行政区長が決まる

木賊町長から委嘱状を受け取る鈴木区長

1月7日(金)午後3時から町役場において今年初めての区長会が開催されました。

式では、木賊町長から退任される3名の前区長に感謝状が、新任の2人を含む13名の新区長一人ひとりに委嘱状が手渡されました。

続いて、木賊町長から「前区長のみなさんには、昨年の災害時には大変お世話になりました。新区長のみなさんには、区のまとめ役、リーダーとして活躍していただきたい。」とあいさつがありました。

各行政区長は、地区のみなさんの世話役として一年間活躍される、言わば「役場と地域のみなさんとをつなぐパイプ役」です。ここでは、今年1年間お世話になる各行区長の顔ぶれをご紹介します。

また、辞令交付後、区長協議会の新役員の選出などが行われました。新役員は次のとおりです。

（※敬称略）

会　長　石井　清司（再任）（高久田）
副会長　佐藤　哲郎（再任）（鏡石２区）
会　計　清水　敏正（再任）（鏡石４区）
監　事　常松　誠（再任）（仁井田区）
監　事　鈴木　昂朗（新任）（久来石区）

新行政区長のみなさん

任期
平成17年 1月 1日から
平成17年12月31日まで

犯罪発生率県内ワースト脱却

安全安心の町に

緊急防犯対策会議

昨年末に福島県警が発表した県内市町村別犯罪発生率（犯罪発生件数を人口千人当たりに換算）で県内ワーストとなったことを受けて、1月24日、緊急防犯対策会議を開催しました。

会議には、町防犯協会、地域安全推進協議会、防犯指導隊、地域安全活動推進員など約30人が出席、ワースト記録の汚名返上と安全・安心のまちづくりを進めることを確認しました。

30人が出席した防犯対策会議

車上狙い・自転車盗対策強化

今回の緊急防犯対策会議では、須賀川警察署生活安全課長から鏡石町内の犯罪情勢と特徴について詳細にわたって説明を受け、効果的な対策について協議しました。

鏡石町内の犯罪状況をみると、左上のグラフのとおり、自転車盗と車上狙いが全体の8割を占め、次いで自動販売機狙い、自動車盗、空き巣と都市型の犯罪となっているのが特徴です。

このことから、全体の8割を占める自転車盗、車上狙いに的を絞り、対策を強化することとして、次のような事項を重点として行うことを決めました。

定例会 街頭啓発を強化

緊急防犯対策として当分の間、①毎月関係機関の定例会を開催し、情報交換を行うこと。②広報等啓発活動を強化し、全町民一丸となって防犯対策に取り組むこと。③街頭パトロール活動を強化し、小さな犯罪にも目を配ること。の3項目を重点として実施することになりました。

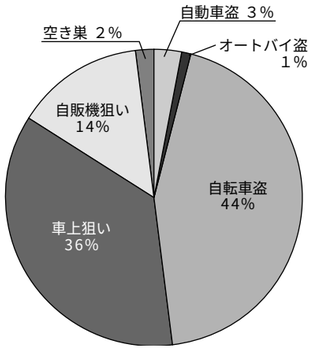
公共施設利用時の車上狙いに注意

特に、町の体育館や図書館、公民館など公共施設利用時の車上狙いが多く発生しています。公共施設の駐車場だから安心ではありません。

貴重品は必ず手元に置きましょう。

鏡石町の平成16年中の犯罪発生状況

須賀川警察署調べ



区分	16年	前年	増減	増減率
空き巣	3	14	− 11	− 78.6%
忍込み	0	2	− 2	− 100%
自動車盗	4	2	＋ 2	＋ 100%
オートバイ盗	1	1	0	0 %
自転車盗	59	59	0	0 %
車上ねらい	49	25	＋ 24	＋ 96%
自販機ねらい	19	17	＋ 2	＋ 11.8%
計	135	120	＋ 15	＋ 12.5%
全刑法犯	232	206	＋ 26	＋ 12.6%

一戸一灯運動で夜間の安全を

昨年末の報道発表を受けて、「一戸一灯運動」の協力をお願いしました。

この運動は、地域社会のみなさんがお互い連携し、夜間、家庭や事業所の玄関灯、門灯、防犯灯を点灯させて、町全体を明るくし犯罪、事件事故の発生しにくい環境を作る運動です。ぜひ、全世帯でご協力いただき夜間の安全のためご協力をお願いいたします。